



豪雨災害の被害軽減に貢献

庄原市消防団 内閣総理大臣表彰受賞

No.6

庄原市消防団が災害時における防災活動に功績のあった団体として、令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、10月4日、横原靖弘団長が木山耕三市長に受賞を報告しました。

同消防団は、平成30年7月豪雨災害の際、市内での水防活動や避難誘導のほか、安芸郡坂町への災害支援活動など、住民の生命・財産の保持に貢献し、その功績が認められ表彰を受けました。

横原団長は「団員が一丸となって活動に当たったことが今回の表彰につながった。この表彰を全団員の励みにし、よりいっそう研さんを積んでまいりたい」と話しました。



▲木山市長(右)に受賞を報告する横原団長(左)

安全運転の大切さを体験

交通安全テント村・9/24

No.5

「秋の全国交通安全運動 交通安全テント村」が高野保健福祉センター前で開催されました。このイベントは庄原地区交通安全協会高野分会の主催で、交通安全運動を周知し、交通安全意識の高揚を図るために毎年開催されています。

当日は小中学生の交通安全標語優秀作品表彰や、自動ブレーキなどの先進安全装置を搭載したサポートカーの試乗体験、交通安全体験車「セーフティープラザヒコア」での運転操作検査などの体験が行われました。運転操作検査を受けた参加者は、「自分の弱点を知ることができた。これから安全運転に生かしていきたい」と話していました。



▲「セーフティープラザヒコア」での体験

ニュースポーツで地域が家族に

バグゴーで交流・10/2

No.2

庄原市社会福祉協議会共同作業所ゆめのいえと、庄原市身体障害者連合会比和支部が主催する、バグゴーを通じた交流会が比和保育所で開催されました。

バグゴーとは、離れた場所にあるボードの穴に、正方形でお手玉に似たピンバックを投げて、得点を競うニュースポーツです。激しい動きが少なくルールも簡単で、子どもから高齢者まで、誰もが一緒に楽しむことができるため、バグゴーを通じて比和地域が「まるごと家族」になるようにと企画されました。

参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、チームごとに分かれて競技を楽しんでいました。



▲バグゴーを楽しむ参加者たち

伝統の一戦!

第60回口和新人戦・10/6

No.1

口和中学校体育後援会が主催する、「第60回口和新人戦」が口和中学校で開催され、庄原、三次市内の中学生が参加しました。

一つの中学校体育後援会が主催する体育大会は、全国的にも珍しく、昭和35年に開催された「第1回中学校対抗新人野球大会」から続いています。第1回は野球のみでしたが、現在は野球、ソフトテニス、柔道の3種目が行われています。

参加者はそれぞれの種目で熱い戦いを繰り広げました。3年生が部活動を引退し、今後は2年生が中心となって、新たにチームをつくっていくことへの期待とやる気が感じられる大会となりました。



▲全力で戦う生徒たち

地域住民でにぎわう

第37回ふれあい東城まつり・10/19-20

No.8

「第37回ふれあい東城まつり」が東城小学校グラウンドをメイン会場に開催されました。

本年は庄原「みのりの祭典'21」も同時開催され、比婆牛や庄原ブランド米などの食材が楽しめるバザーが充実し、約9,000人の来場者でにぎわいました。

ステージでは東城町内の保育園児の発表や、新沼謙治さんの歌謡ショーなど盛りだくさんの内容でした。また、会場には健康チェックなどができる「健康ひろば」や、けん玉体験コーナーが開設され、来場者は思い思いの場所で楽しみました。

19日には、東城文化ホールで「ふれあいステージ」が開催され、地域の方が芸能・文化などの練習の成果を発表しました。



▲会場内には土俵もつくられちびっこ相撲が開催された

地域の課題について考える

里山ココロザシ・カフェ・10/5

No.7

広島県が主催する「里山ココロザシ・カフェ」が川北町の「暮らし宿 お古」で開催され、市内外から約30人が参加しました。

このイベントは県内の中山間地域を会場に開催されており、今回は「子どもと暮らす 丁寧に暮らす」をテーマに、市内在住で「暮らし宿 お古」店主の菱千尋さん、同じく市内在住の上田千絵さん、広島市在住の今田新さんの3人が、湯崎英彦知事と田舎暮らしの良さや子育てについて対談しました。

その後、参加者も含めたグループに分かれてテーブルトークを行い、中山間地域での子育てや暮らしについて活発に意見を交わしていました。



▲湯崎知事・木山市長をはじめ多数の参加者が意見交換を行った

練習の成果を競い合う

水夢フェスティバル 10/6

No.4

第16回目となる「水夢フェスティバル」が、庄原市西城温水プール「水夢」で開催され、県内各地から350人以上が来場し、幼児から大人まで80人の選手が参加しました。

大会ではさまざまな種目でレースが行われました。幼児・ビート板レースでは保護者に見守られながら泳ぐ子どもたちの一生懸命な姿に大きな歓声が上がリ、小学生以上の種目では緊張しながらも、練習の成果を競い合いました。

最後のメドレーリレーでは一際大きな声援が選手へ送られ、全力を出し切った選手の笑顔が輝いていました。大会終了後はお楽しみ抽選会が行われ、来場者は競技の外でも盛り上がり、イベントを楽しみました。



▲ゴールを目指してタイムを競う

まるごと里山を楽しもう!!

総領おいでん祭・10/13

No.3

総領町最大のイベント「総領おいでん祭2019」が市役所総領支所裏芝生広場で開催され、県内外から約3,000人が来場しました。

「まるごと里山を楽しもう!!」をテーマに特産品などのバザーのほか、特設ステージでは太鼓や手品、ダンス、バンドなどのパフォーマンスが披露され、見どころ満載の会場は大勢の来場者でにぎわいました。また、NHK紅白歌合戦にも出場した角川博さんの歌謡ショーでは、軽快なトークと美声で大いに盛り上がりました。

台風の接近で開催が心配されましたが、当日は晴れ間も見え、来場者は「気持ちの良い秋の空気を感じながら、食べ物もステージも満喫できた」と話していました。



▲総領スカバラオーケストラによるバンド演奏